



秋のブナ原生林（山形県小国町）

鈴木一雄 写真展

聲をきく

2022年11月12日 [土]—2023年1月15日 [日]

9:00—19:00 ※1月は17:00まで

休館日 月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

会場 白鷹町文化交流センター あゆむ AYU:M

観覧料 一般個人 500円 大学生・高校生 200円 中学生 以下無料

※あゆむ年間パスポート提示で200円引き

※大学生以下のかたは学生証・生徒手帳をご提示ください

主催・問合せ 白鷹町文化交流センター TEL:0238-85-9071
〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331

協力 富士フィルム株式会社、株式会社風景写真出版



着用にご協力を
お願い致します

鈴木一雄
ギャラリートーク

11月13日 [日]

14:00から

※当日の観覧券が必要です



湖畔の鳥居（福島県松原湖）



オオヤマザクラ（山形県小国町）



尾瀬ヶ原（群馬県片品村）



川面のサガリバナ（沖縄県西表島）

日本を代表する自然写真家・鈴木一雄の、初期の代表作から最新作までが一堂に会する写真展です。

1953年福島県に生まれ、中学卒業後、鉱山技師として働いた経験を持つ鈴木は、42歳にして本格的に写真家としてのスタートを切ります。本展では、自然写真家・鈴木一雄の誕生のきっかけとなり、撮影地として当地を一躍有名にした初期の代表作「裏磐梯」、冬の湿原の表情を鮮烈に捉えた「尾瀬」、四半世紀にわたり鈴木を魅了する全国の多彩な「桜」、そして、撮影範囲を日本列島全域に広げた「列島」シリーズまで、幅広く奥深い鈴木の世界の全貌を紹介し、被写体に寄り添い耳を澄まし、自然界の声なき《聲をきく》ことを大切にしてきた鈴木が、大型サイズの銀写真プリント約80点を総覧する中で、写真家自身の「自分史」も浮かび上がってきます。

あなたには
わたしたちの
声が

と きこえて
いますか
大地が
問う

【鈴木一雄 プロフィール】

1953年福島県生まれ。法政大学法学部卒。民間企業、地方公務員を経て自然写真家に。自然界が発しているさまざまな声（こえ）を五感で受け止め、その物語を描くことに精力を傾ける。写真集に「聲をきく」「サクラニキル」



「日本列島一花乃聲」「日本列島一季乃聲」「櫻乃聲」「おぐにの聲」「裏磐梯の聲」「尾瀬の聲」「尾瀬じまの旋律」「裏磐梯彩景」、著書に「一見たい撮りたい日本の桜200選」「デジタル露出の極意」「風景写真の極意」「露出の極意」、「鈴木一雄の風景四大聖地」、「風景写真が必ず上手くなる露出決定術」など多数。しあわせな写真人生を送るための「自慢史つづりと自分史つづり」の普及活動に力を注ぐ。自治体、写真雑誌・メーカー等の各種フォトコンテストの審査員を務める。（公社）日本写真家協会会員、（公社）日本写真協会会員、日本自然科学写真協会会員、フォト寺子屋「一の会」主宰、全日本写真連盟関東本部委員、日本写真家連盟常任講師。

AYu:M 年間パスポート

半年会費 1,000円（税込）で3つの特典

- 特典1** 観覧料200円のギャラリー展示は無料（適用回数無制限）
- 特典2** 観覧料201円以上のギャラリー展示は200円引き（団体割引との併用は不可）
- 特典3** あゆ一むホールの有料イベントはチケット料金を500円引き（会場での本パスポート提示により500円を返金）

あゆ一むまでお申し込みください

- ※有効期限：本年10月1日～翌年3月31日
- ※パスポート登録者本人のみ有効
- ※あゆ一むが主催あるいは共催する事業に限ります
- ※あゆ一むカレッジの事業（うたごえ喫茶・アートキッズ団など）は適用外です



- アクセス
- [車] 山形市より国道348号線で約35分
 - [電車] 山形鉄道フラワー長井線「赤湯駅」より
 - …「荒砥」行（約50分）
 - 「四季の郷駅」下車
 - …（徒歩約4分）
 - あゆ一む

白鷹町文化交流センターAYu:M
[お問合せ] 0238-85-9071